

こころのふるさと



津島市

T S U S H I M A

津島市は、濃尾平野の西南部に位置し、東西7.25km、南北7.45km、面積が25.08km²で名古屋市から西へ16kmの距離にあります。周囲を海部郡12町村が取り囲み、海部津島広域行政圏として一つの圏域が形成されています。

木曽川の下流域にあたる当市では、大昔からその豊かな水源をもとに農業、工業、商業を発展させて来ました。中世・近世では湊町として、近代においては毛織物産業の中心地域となり、その繊維の質の高さは定評のあるところです。また、古くから津島神社の門前町として栄え、歴史的な町並みや神社などが多く残っています。さらに郷土の英雄である織田信長、豊臣秀吉、徳川家康と深い関わりもあります。

津島神社の南側に位置する天王川公園、ここはかつて川であったところで、その名残りとして池があり、この池の周りを舞台に、季節に彩られた文化と伝統のまつりが多く開催されます。

・4月下旬から5月下旬にかけては

「尾張津島藤まつり」

藤棚面積4530m²、長さ275mと壮大なスケールを誇る藤棚が見ものです。

・7月の第4土曜日とその翌日は

「尾張津島天王まつり」

このまつりは、日本の三大川まつりの一つとして挙げられており津島神社の祭礼として500年以上も続いています。

・10月の第1日曜日とその前日は

「尾張津島秋まつり」

百年以上の歴史がある絢爛豪華な山車16台が一斉に津島の町に繰り出されます。

津島の物産としては、あかだ、くつわ、れんこんの砂糖漬け、津島麩、モロコの押し寿司^{せった}などがあり、古くは元禄の時代より伝わるという太鼓、全国生産の半数を占めるといわれる雪駄^{せった}などがあります。



尾張津島天王まつり

天王川公園 所在地 愛知県津島市宮川町1

アクセス 名鉄津島線「津島」駅より徒歩約15分

東名阪高速道路・弥富IC下車北へ、国道155号線經由「下新田」交差点を右折し約0.6km

<http://www.city.tsushima.aichi.jp>